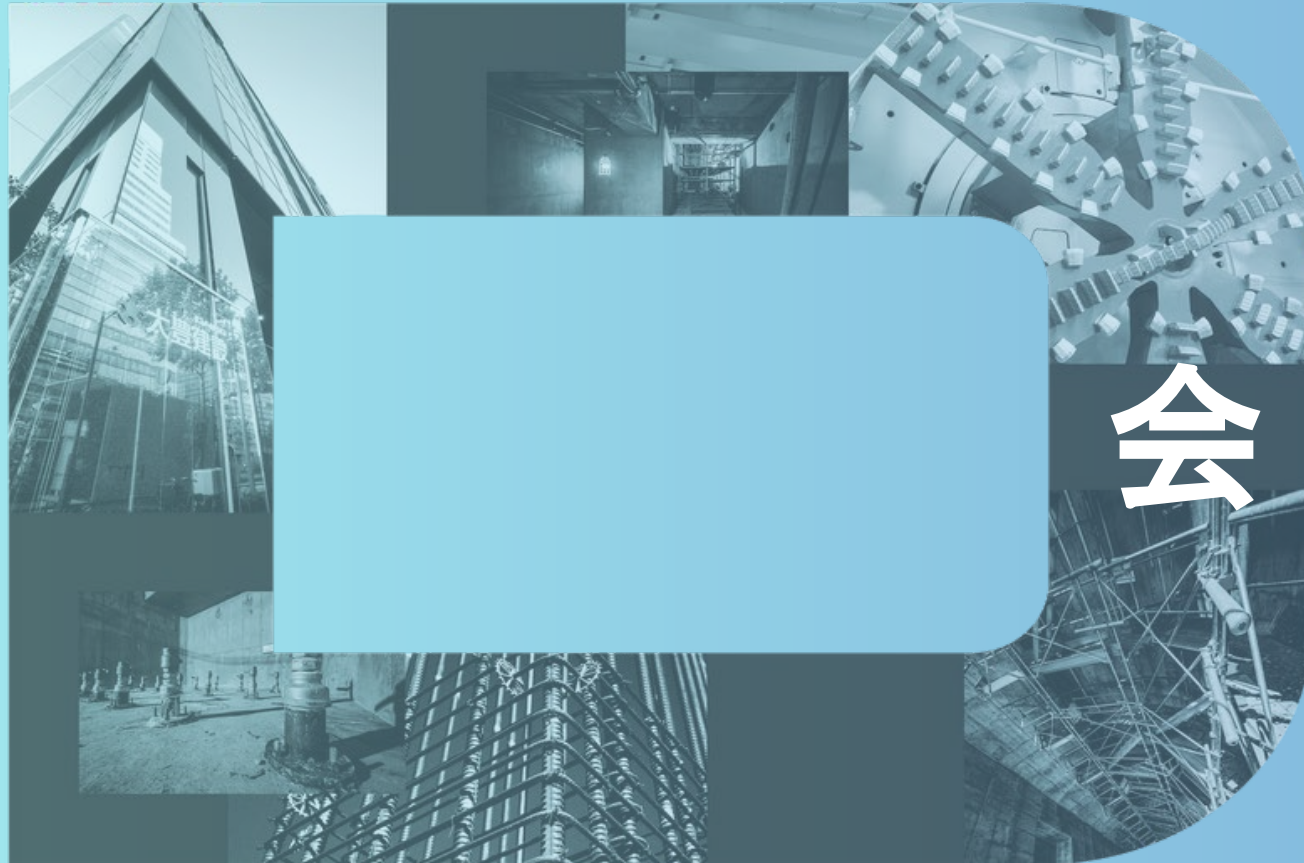


大豊建設株式会社

東証スタンダード市場
(証券コード：1822)



会社紹介

会社概要

事業内容

総合建設業

設立

1949年3月31日

資本金

100億円

株式の状況

発行済株式総数 86,015,815 株

従業員数

連結：1,700名
単体：1,072名 } (2026.3.31現在)

本社所在地

東京都中央区新川1丁目24-4

売上高

139,818百万円(連結) (2025年度)



大豊建設の歩み

大豊建設の原点

昭和11年(1936年)、満州国(当時)の電力不足を解消するため、第二松花江に建設が設計された豊満ダム。戦後、そこに従事した土木技術者を中心に設立された会社が大豊建設のルーツです。

「大豊」の社名は豊満ダムから由来し、そのパイオニア精神と技術はこれからも連綿と受け継がれてゆきます。



「技術の大豊」のルーツ

豊満ダム(1937～1945)

土木史に残る巨大ダムに「簡易式ニューマチックケーソン工法」を採用

豊満ダム(堤長1,100m、堤高91m、総出力70万kw)は、当時、アメリカのフーバーダムに次ぐ世界的規模の大きさで東洋最大級と謳われた多目的ダム。発電、治水、農地開発などを目的に建設され中国東北地方の近代化に貢献しました。

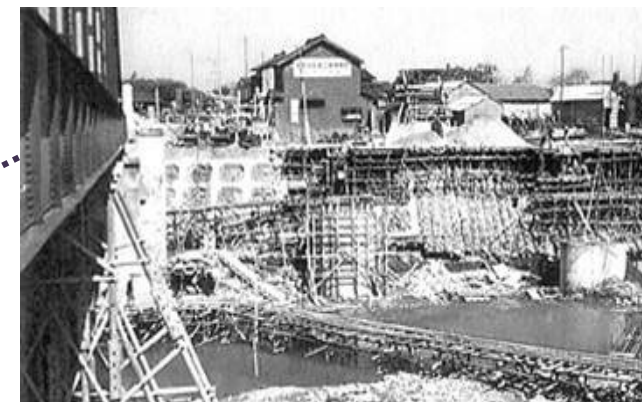
沿革

1949年

大豊建設株式会社 設立

1951年

大豊式潜函工法
国内第1号工事着工

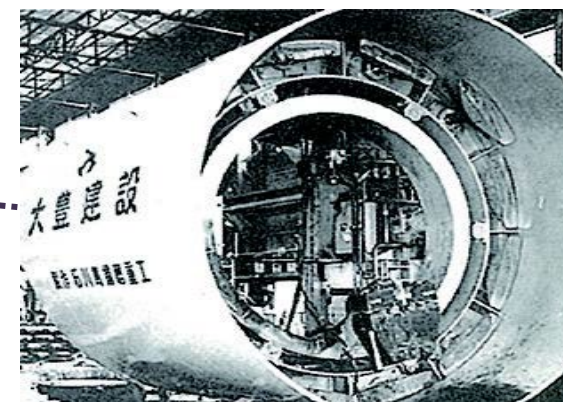


1962年

東京証券取引所市場第2部に上場

1963年

シールド工法
当社第1号工事着工



1972年

東京証券取引所市場第1部に上場

1976年

泥土加圧シールド工法
国内第1号工事着工



2022年

株式会社麻生と資本業務提携契約を締結

2023年

東京証券取引所スタンダード市場に移行

2025年

株式会社 富士ピー・エスと業務提携を締結

グループ相関図

麻生グループ(130 社)

(株)麻生
麻生セメント(株)

大豊建設

日特建設(株)
若築建設(株)
etc ...

関連会社

国 内

(株)森本組 大豊塗装工業(株) 大豊不動産(株)
大豊アーキテクノ(株) 進和機工(株)

海 外

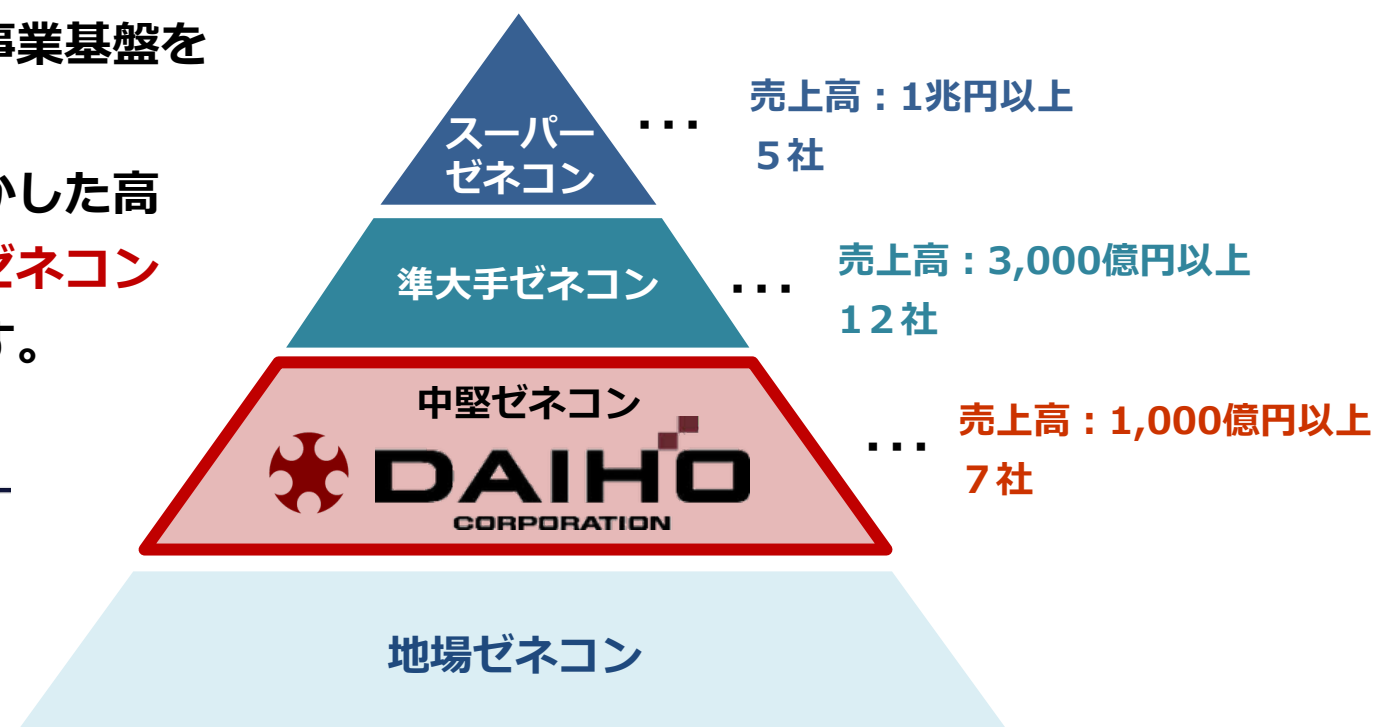
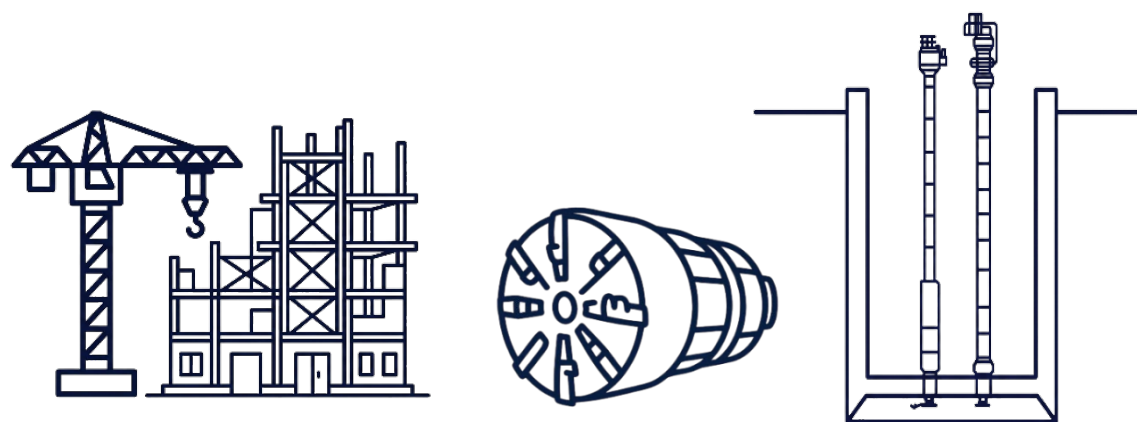
タイ大豊(株)
マダガスカル大豊(株)

業界内における当社のポジション

土木分野の技術力を強みに、建築分野との両輪で事業基盤を構築

当社は、中堅ゼネコンとして、土木分野で培った高い技術力を強みとし、建築分野との両輪経営により安定して事業基盤を築いています。

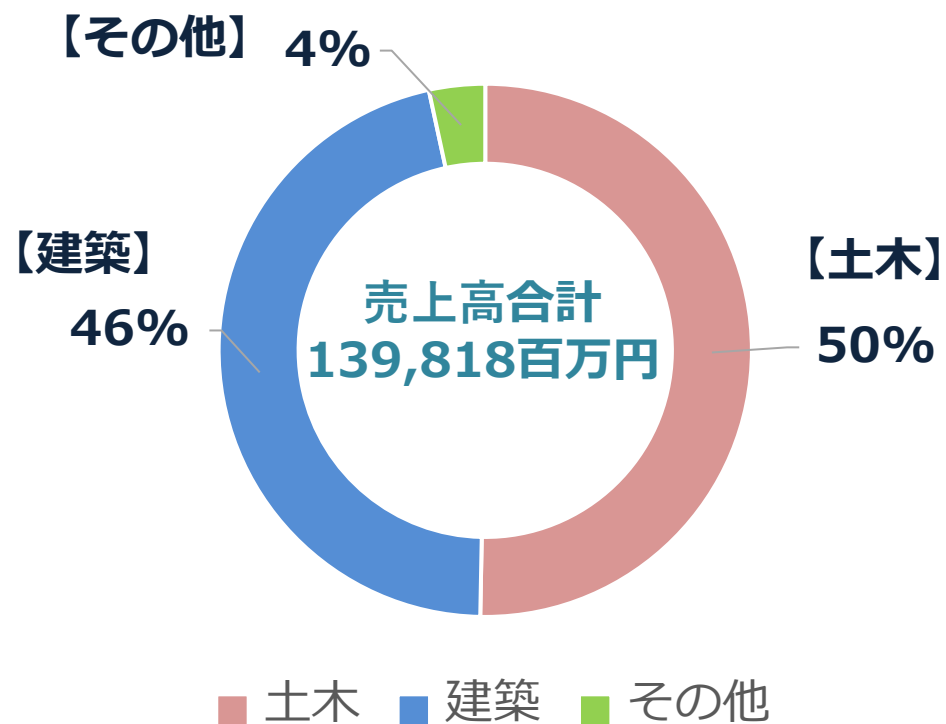
中堅規模ならではの機動力に加え、得意技術を活かした高付加価値な提案・施工を通じて、業界内で**特色あるゼネコン**としての確固たるポジションの確立を目指しています。



事業セグメント概要① (2026年3月期 売上ベース)

当社グループは、土木・建築を両輪とする
バランスの取れた事業ポートフォリオを構築

セグメント別売上構成



全社売上サマリー

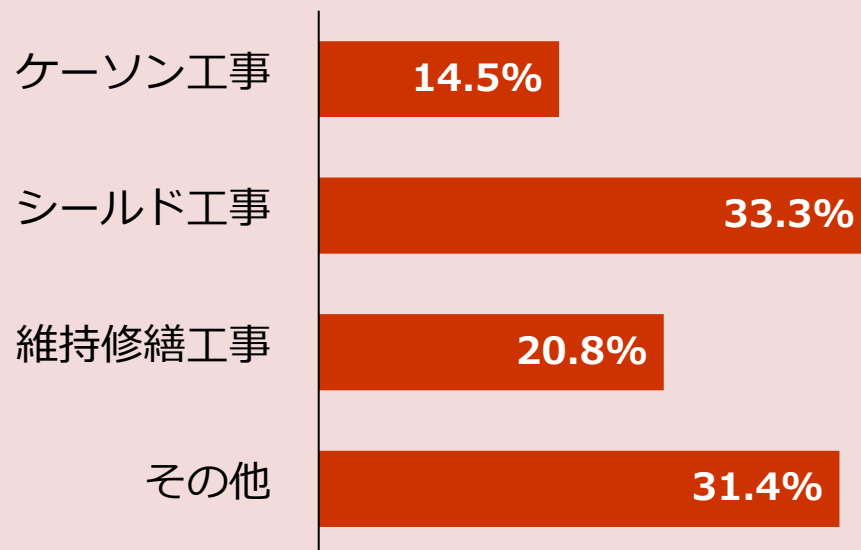
土 木	70,314百万円
建 築	64,800百万円
その他	4,704百万円
合 計	139,818百万円

事業セグメント概要② (2026年3月期 大豊建設単体売上ベース)

土木ではケーソン工事、シールド工事などの専門領域、
建築では民間住宅を中心に幅広い需要に対応。

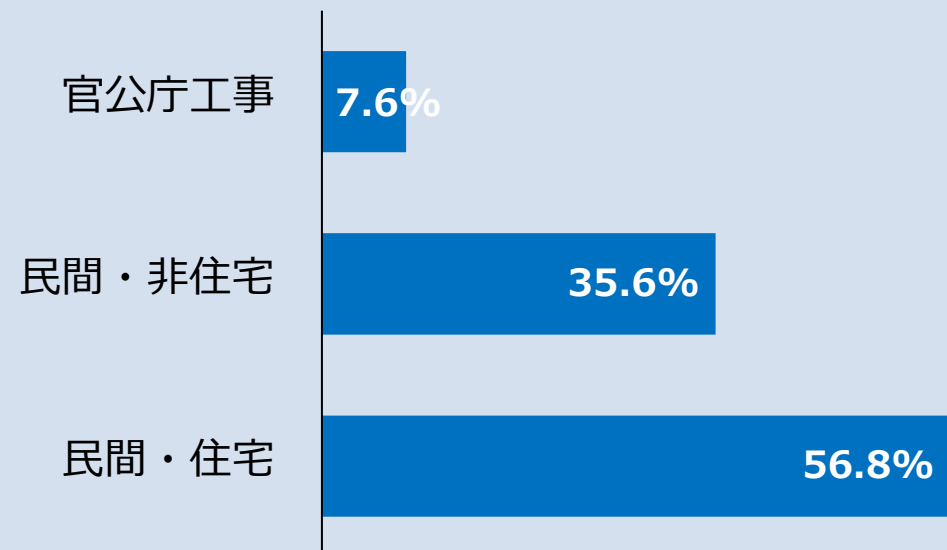
土木事業

国内土木工事売上高：42,448百万円



建築事業

国内建築工事売上高：49,860百万円



事業セグメント概要③ (海外工事)

台湾、マダガスカルを中心に実績

【過去実績】



港湾

マダガスカル

トアマシナ港
エホアラ港



鉄道

台湾

台湾高速鉄道
台北地下鉄



橋梁

タンザニア、ルワンダ、
スリランカ

ルスモ国際橋
東部州5橋



道路

カンボジア
コートジボワール

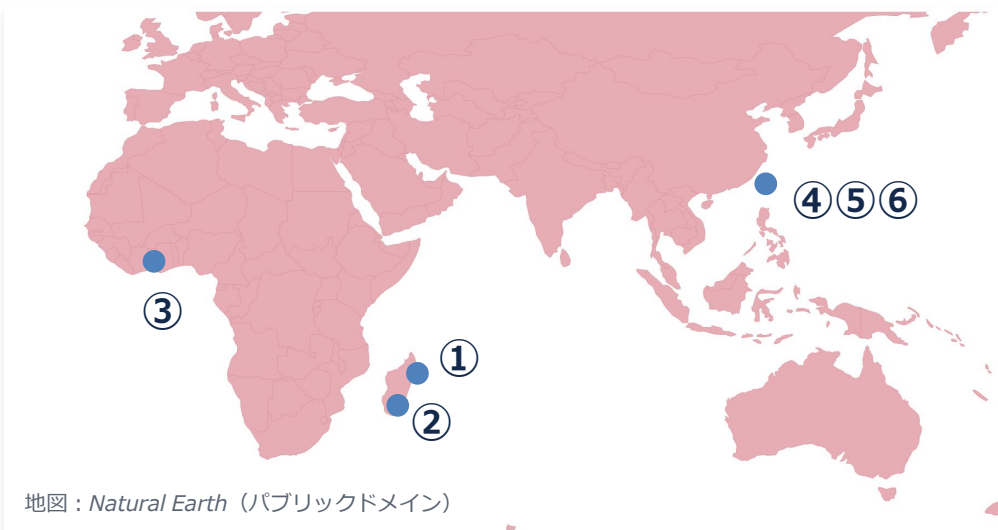
国道1・5・6号線
アビジャン立体交差



電力

マダガスカル

ナモロナ発電所



トアマシナ港
マダガスカル



エホアラ港
マダガスカル



アビジャン立体交差
コートジボワール



台湾高速鉄道 (橋梁・トンネル)
台湾



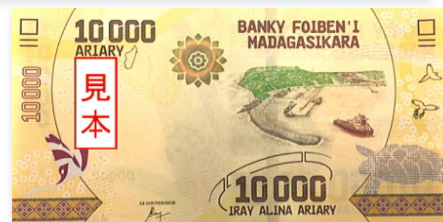
台湾高速鉄道 (新竹駅)
台湾



地下鉄 (シールド工法)
台湾

エホアラ港

マダガスカル1万アリアリ紙幣の
図柄に採用



当社の得意技術

～地上の暮らしを守る、地下の技術力～

大豊建設は、高度な施工管理能力と豊富な実績を強みに、社会インフラを支える専門性の高い土木技術を保有しています。なかでも当社が得意とするのが「ニューマチックケーソン工法」と「泥土加圧シールド工法」です。

シールド工法は、上下水道・道路・地下鉄・地中送電・雨水貯留管等の地下トンネル築造に使用され、ニューマチックケーソン工法は地下トンネル築造のための掘削機の発進・到達立坑や橋梁下部、雨水・下水ポンプ場などの構築に使用されます。

泥土加圧シールド工法



ニューマチックケーソン工法



ニューマチックケーソン工法の主な用途



橋脚



ポンプ場(施工状況)



ポンプ場

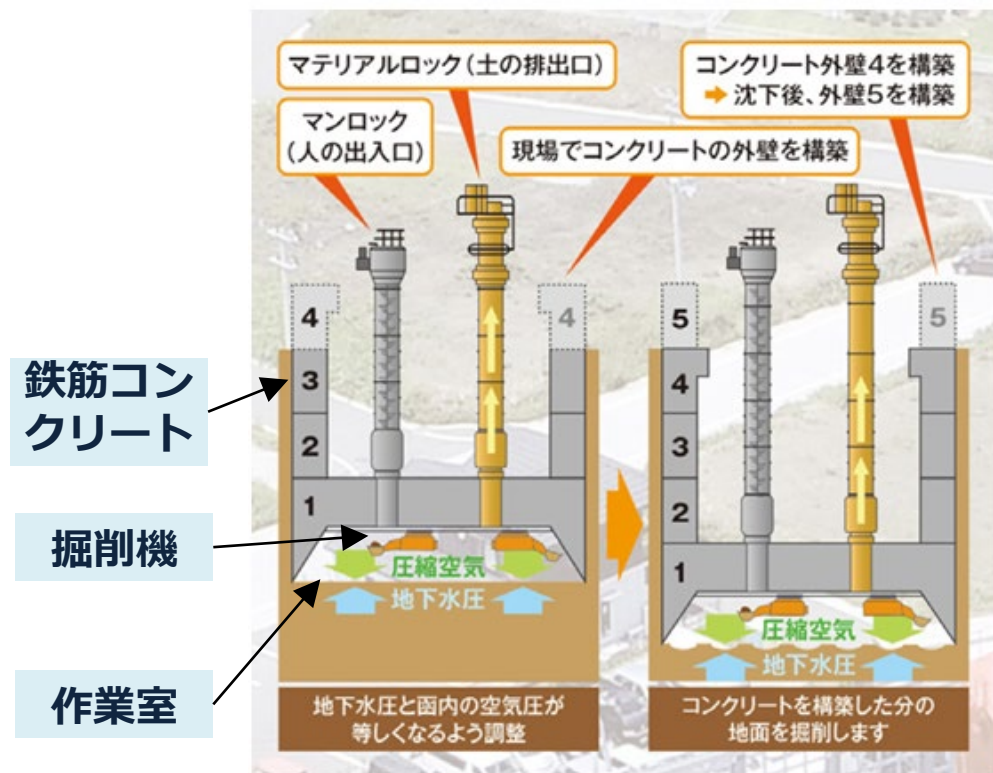


シールド立坑(施工状況)

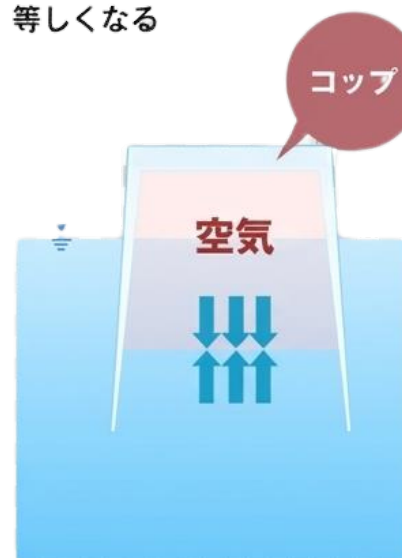


海底道路(陸上と海上の接続部分)

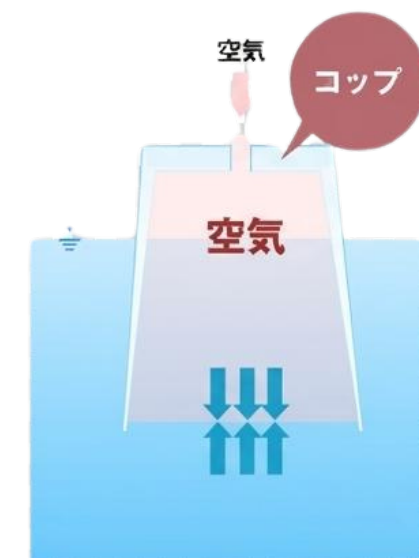
ニューマチックケーソン工法



コップを逆さにして水の中に入れると、コップ内に水が入って内部の空気圧と水圧が等しくなる



コップ内に空気を送り込むと、内部の空気圧が上昇して水が排出される



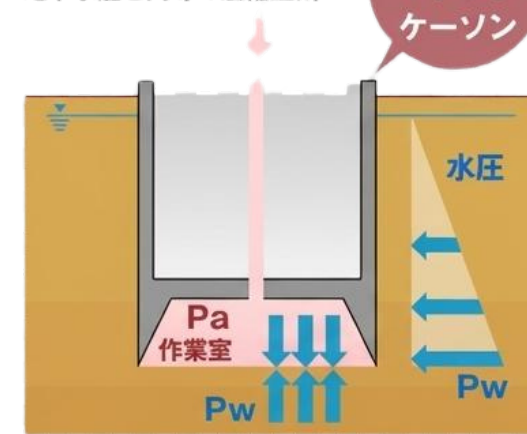
同じ原理！

$P_w = P_a$ ならば作業内に水は侵入しない

P_w : ケーソン底面位置の水圧

P_a : 作業室内の空気圧

地下水圧と同等の圧縮空気



ニューマチックケーソン工法は、地下に大きな構造物を安全につくるための工法です。地上でのコンクリート構造物構築と構造物底部の掘削を繰り返すことで、構造物を地中深くに沈めるように設置します。構造物底部の作業室への地下水の流入を防止するために、圧縮空気を送り込みドライな状態で掘削作業を行えるのが特徴です。

この仕組みはコップを逆さにして水中の中に押し込むと、内部に空気が残り水が入りにくくなる現象と同じ原理です。この原理を利用して作業空間を確保し、掘削を進めながら構造物を少しずつ沈めていきます。

シールド工法の主な用途



地下貯留管(立坑部)



道路



地下貯留管



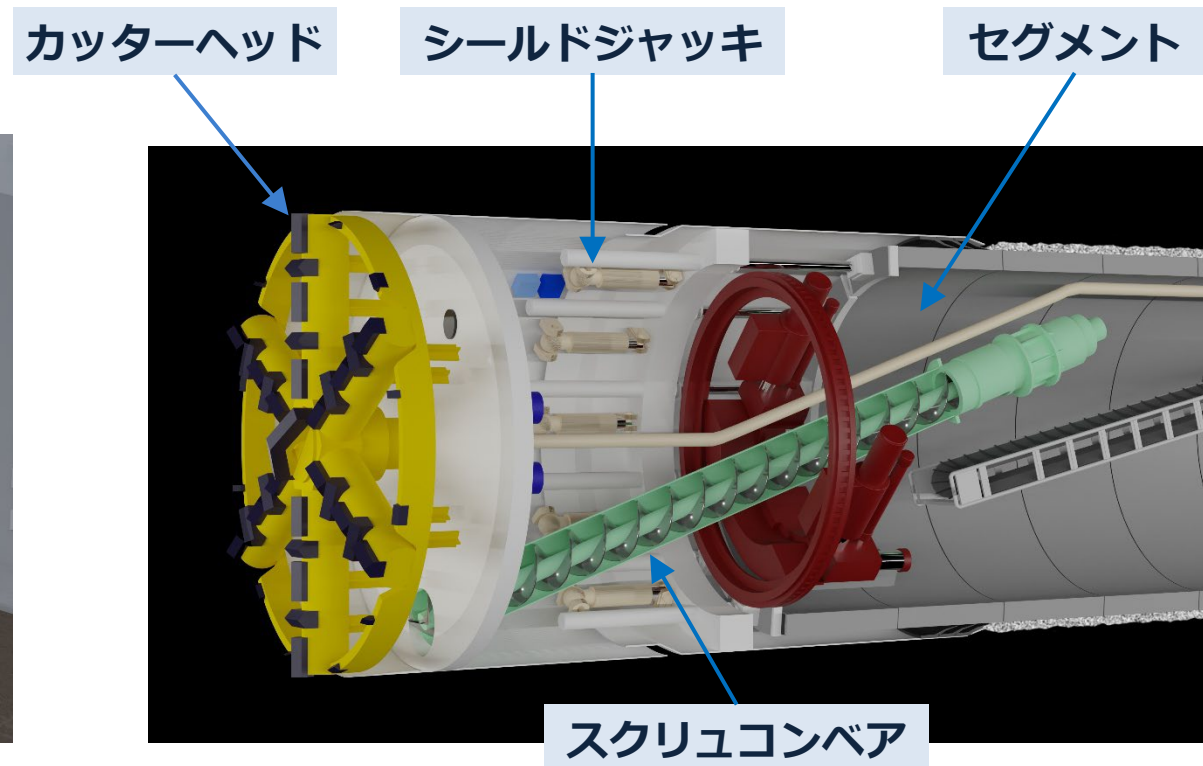
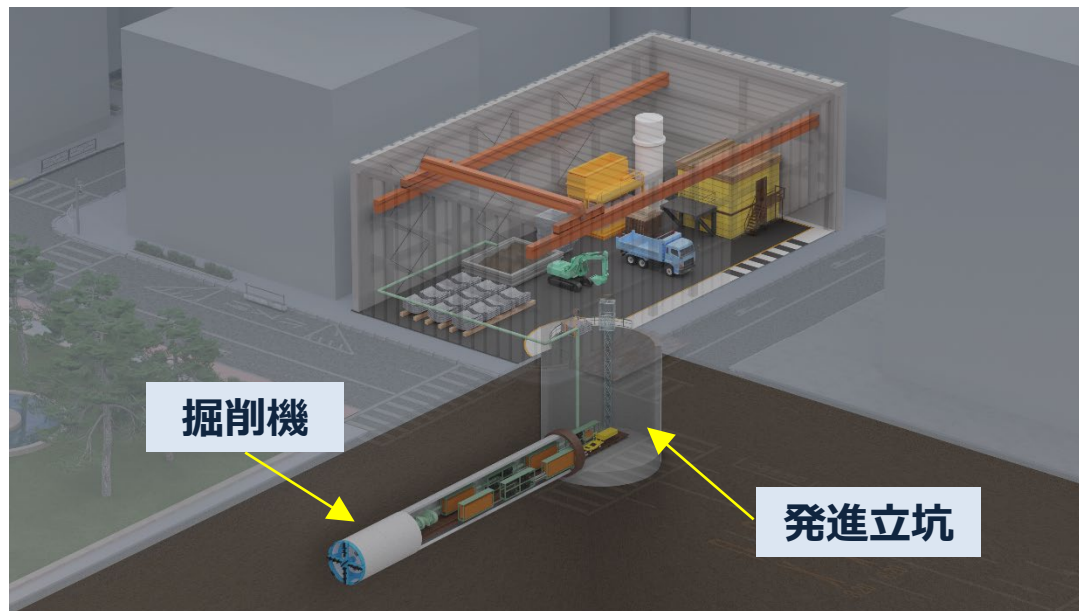
地下鉄

泥土加圧シールド工法

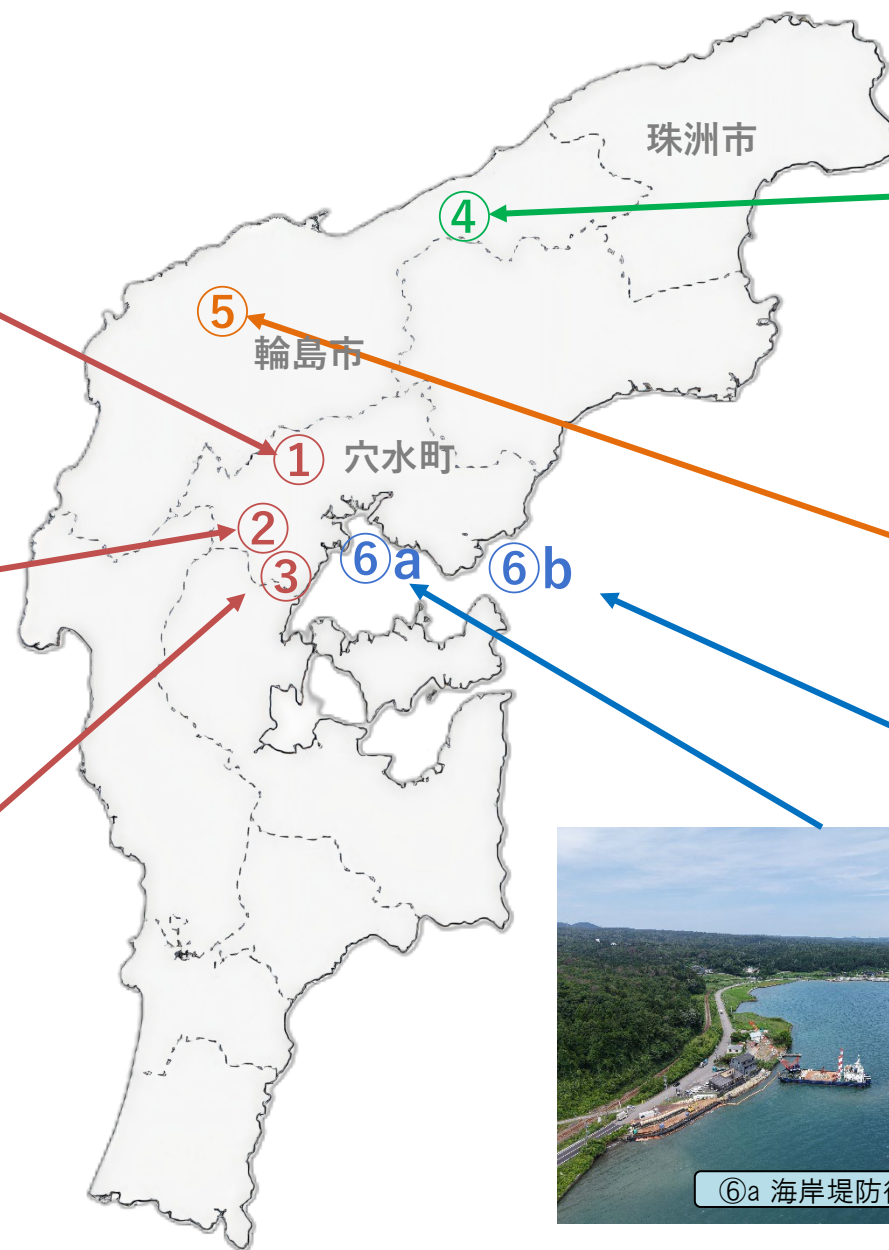
シールド工法とは、筒状のトンネル掘削機を使い、周囲の土砂が崩れないように支えながら、地中を安全に掘り進める技術です。

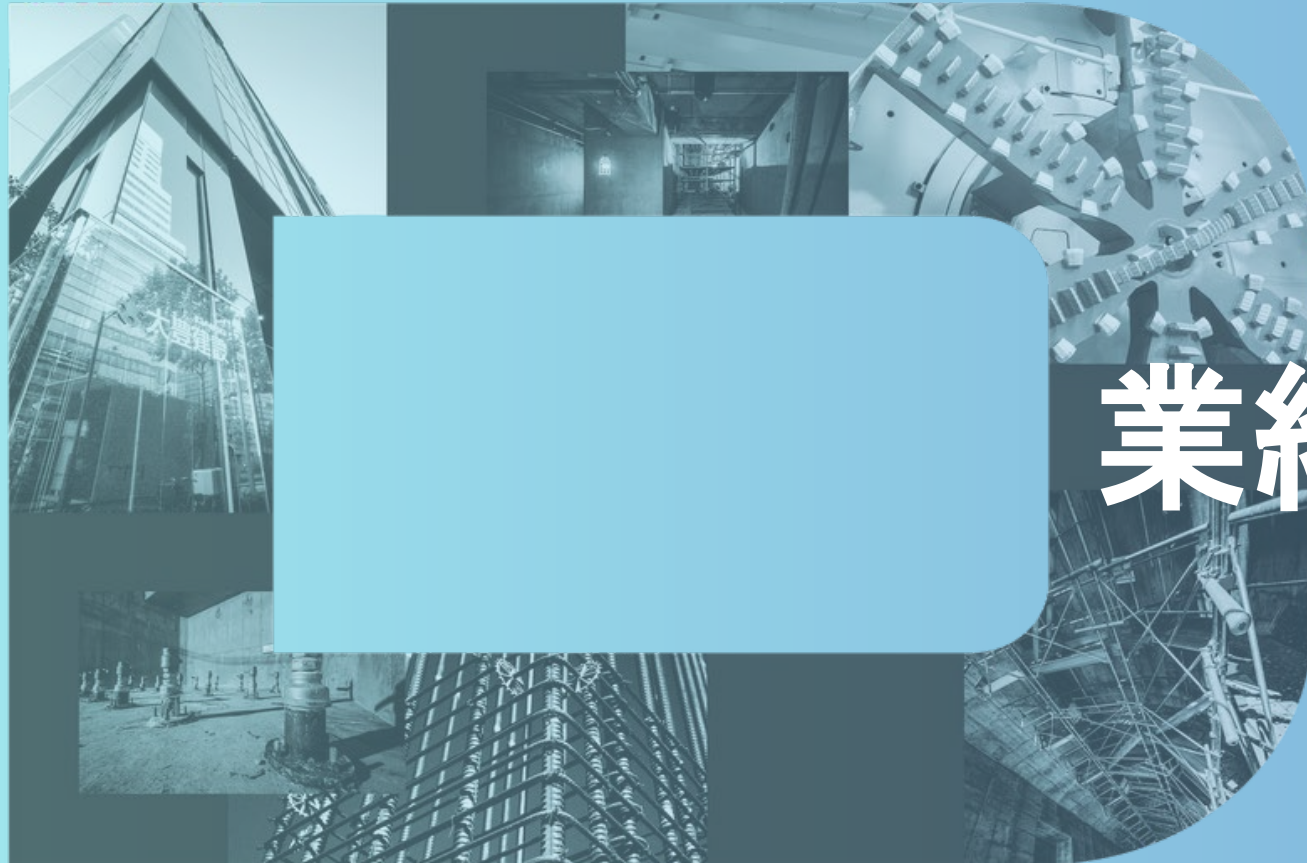
シールド工法は、掘削機の内部でトンネルの壁となる部材（セグメント）を順次組み立て、トンネルの構造を築きながら前進する工法です。

大豊建設は「泥土加圧シールド工法」の開発者であり、シールド工事の約7割で本工法が採用されています。



大豊建設が取組む能登半島復興工事





業績とビジョン

業績推移 (2024年度～2030年度目標) ※連結

() : 中期経営計画(2023～27年度)
アジャスト版での計画数値

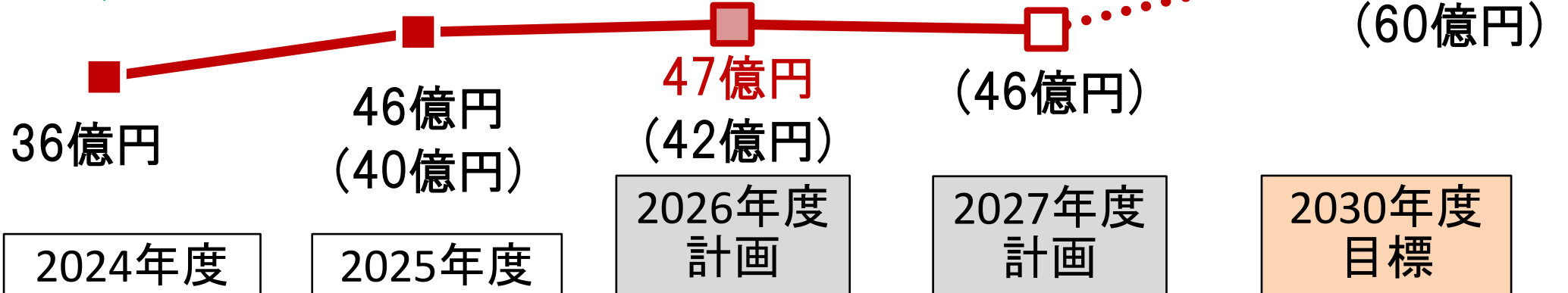
売上高



営業利益



当期純利益



成長ビジョン

◆事業基盤の強化

- 得意分野における高い収益性の実現
- M&Aによる成長の加速
 - 施工管理社員の増強による受注キャパシティ拡大
 - 強みを持つ工種の更なる強化
 - 競争力のある新技術の獲得

成長軌道

事業基盤の強化

(2030年度以降)

(2028～30年度)

内部統制の強化

(2025～27年度)

事業環境の変化

(2022～24年度)

◆成長軌道（ビジョン）

- 技術力と高い収益性を併せ持つ、
特色あるゼネコンとしてのポジションを確立

防災・減災、国土強靱化を担う大豊建設の得意工法

国民の生命と財産を守る防災インフラの整備
(激甚化する風水害や大規模地震等への対策)

+

予防保全型インフラメンテナンスへの転換へ向けた
老朽化対策 (下水道など)



大豊建設の2つの地下関連技術でインフラ整備と
リニューアルに貢献する。

※国土強靱化…地震や津波、台風、水害などの自然災害に強い国づくり・地域づくりをソフト面とハード面から
目指す取組み。事業規模は2026年度～2030年度の5年間でおおむね20兆円強程度。

① 豪雨対策事例

河川下に地下貯留管を築造し、豪雨時の雨水を一時貯留することで浸水を防止

貯留管をシールド工法で築造、貯留管と河川とを結ぶ流入・放流孔をニューマチックケーソン工法等で築造。各孔はシールドマシンの発進・到達立坑として使用。

通常時

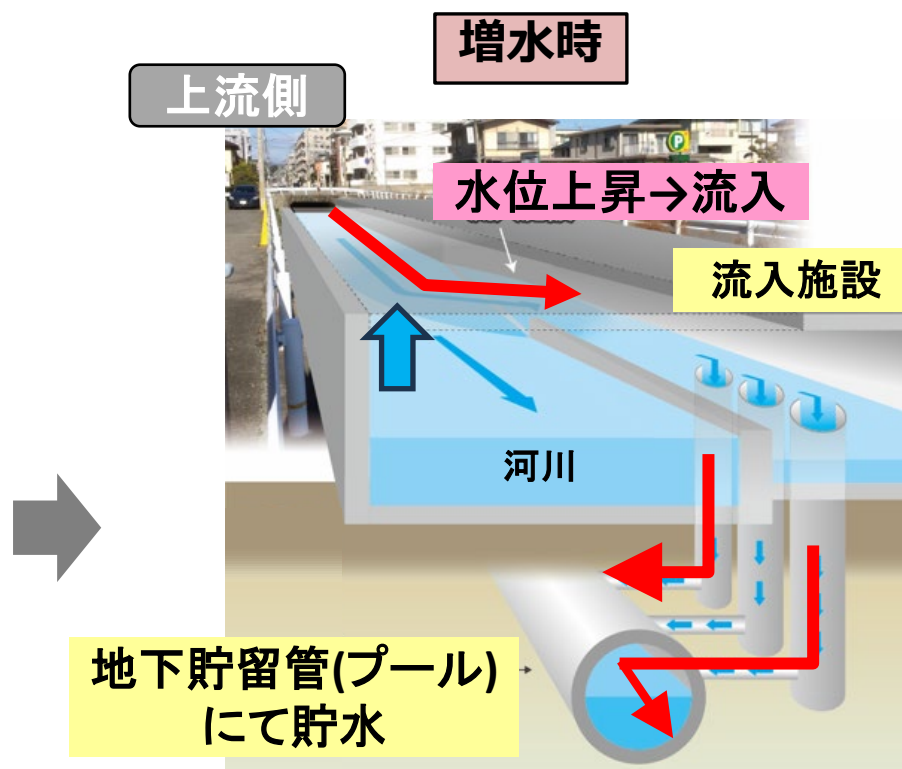


上流側

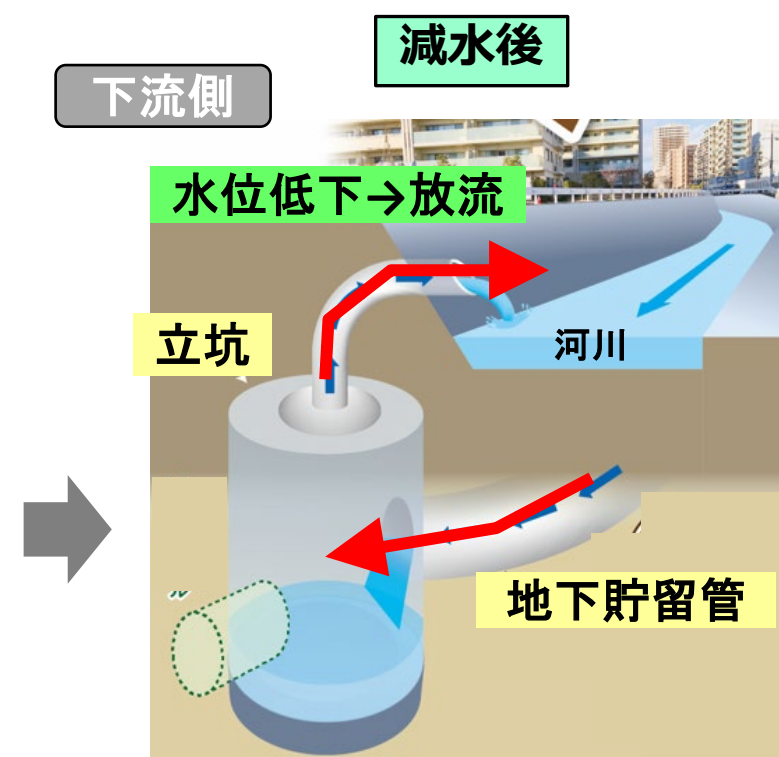


下流側

増水時



減水後



2つの工法で地下貯留管を一気通貫で築造

② 下水道管路リニューアルへの取り組み

埼玉県八潮市の道路陥没事故(令和7年1月)は、老朽化した下水道管の破損が起因

(1) 現場条件が八潮と酷似、管が腐食しやすい箇所、
管径2m以上かつ平成6年度以前設置の管路

※令和8年2月時点

下水道管路延長① : 約813km
緊急度Ⅰ : 約 53km (7%)
緊急度Ⅱ : 約259km (34%)

(2) 管径2m以上かつ平成6年度以前設置の管路

※令和8年2月時点

下水道管路延長②(①を除く) : 約4,519km
緊急度Ⅰ : 約 147km (4%)
緊急度Ⅱ : 約 288km (7%)

※緊急度Ⅰ…原則1年以内の速やかな対策が必要、緊急度Ⅱ…応急措置を実施後、5年以内の対策が必要

(3) 全国の管路の老朽化

全国の管路経年比率(標準耐用年数50年を超えた管路延長割合) 総延長 約50万km
令和5年度時点 7%(4万km) ⇒10年後 20%(10万km) ⇒20年後 42%(21万km)

特に中大口径の既設管渠の老朽化が
深刻な問題となることが予想される

+

通水しながらの既設管渠リニューアルは困難



得意とするシールド工法での経験や実績を
生かせる管渠リニューアル工法の技術開発

官民連携（PPP）への取り組み

多くの地方公共団体では人口減少、厳しい財政状況、公共施設の老朽化、維持管理費の増大、技術者減少など様々な問題



PPPの活用

※PPP…公共施設等の整備・運営に民間事業者の資金や創意工夫、迅速な投資判断を活用することにより、効率的かつ効果的で良好な公共サービスを実現する手法。



- ・強い経済の実現に貢献するための公共部門における官民連携投資の拡大
- ・インフラ老朽化・人手不足等の社会的課題に対応するための各地域の案件形成

PPP事例

ふじさん工業用水道事業



【工業用水 国内初の
ウォーターPPPレベル3.5】

上下水道等の維持管理と更新（改築）を一体的に民間へ委託する官民連携手法（管理・更新一体マネジメント方式）

工事名	ふじさん工業用水道事業 新ポンプ場整備を伴う 包括民間委託事業（更新支援型）
請負者	大豊建設グループ：大豊建設を代表とする7社で構成 ・土木・建築工事…大豊建設JV ・電気工事…構成会社 ・機械器具設置工事…構成会社 ・運転・維持管理…構成会社 ・汚泥処理設備・委託業務…大豊建設 ・長期更新計画策定…構成会社
工期	7年間（うち運転管理期間6年間）
事業内容	新ポンプ場、既設導水管と既設導水管2系との間を連続する連絡管の設計・建設、既存浄水施設等の運転・維持管理

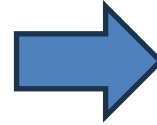
各種取り組み

■ DX・研究開発の推進

・ニューマチックケーソン工法の自動化施工技術開発



人による操作



自動掘削

省人化により人手不足の解消、生産性向上、事故防止などに寄与

■ DX・研究開発の推進

・ 大豊AIの導入（業務効率化による生産性向上）

生成AIを活用した「大豊AI」を構築し、資料の要約・作成、現場での施工・安全に関する疑問への回答、社内資料の検索など、業務の様々な場面で活用中。



一般的な生成AI

（例：ChatGPT）

- インターネット情報のみで回答
- 社内データに基づく検索・生成は不可

大豊AI

- インターネット情報 + 社内データ
- 社内データをもとにした検索・生成が可能

■ 人材育成（技術者育成）

- ・ 実際のシールドマシンを使用した国内初の実習施設「MOGLABO（もぐらぼ）」の開設

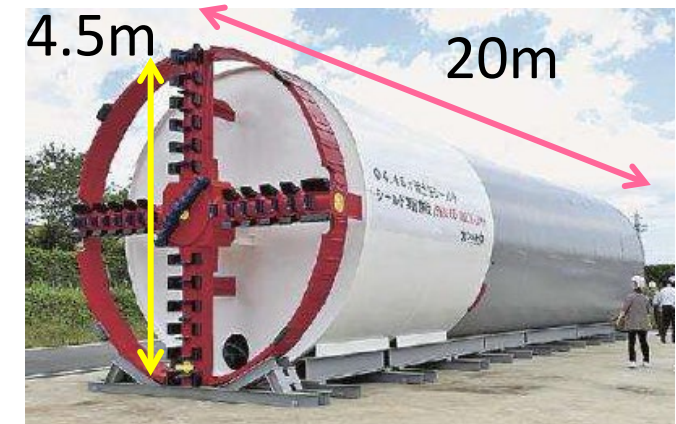
掘進管理や施工手順の研修に十分な時間を
掛けることで、経験や勘だけに頼らない
体系的な「人材育成」

+

泥土圧管理システム、計測統合管理システム（開発中）



ヒト+AIを組み合わせ、安全かつ効率的に
地下トンネルを構築する。



【MOGLABO】



【実習状況】

サステナビリティに関する取り組み

環境への取り組み事例

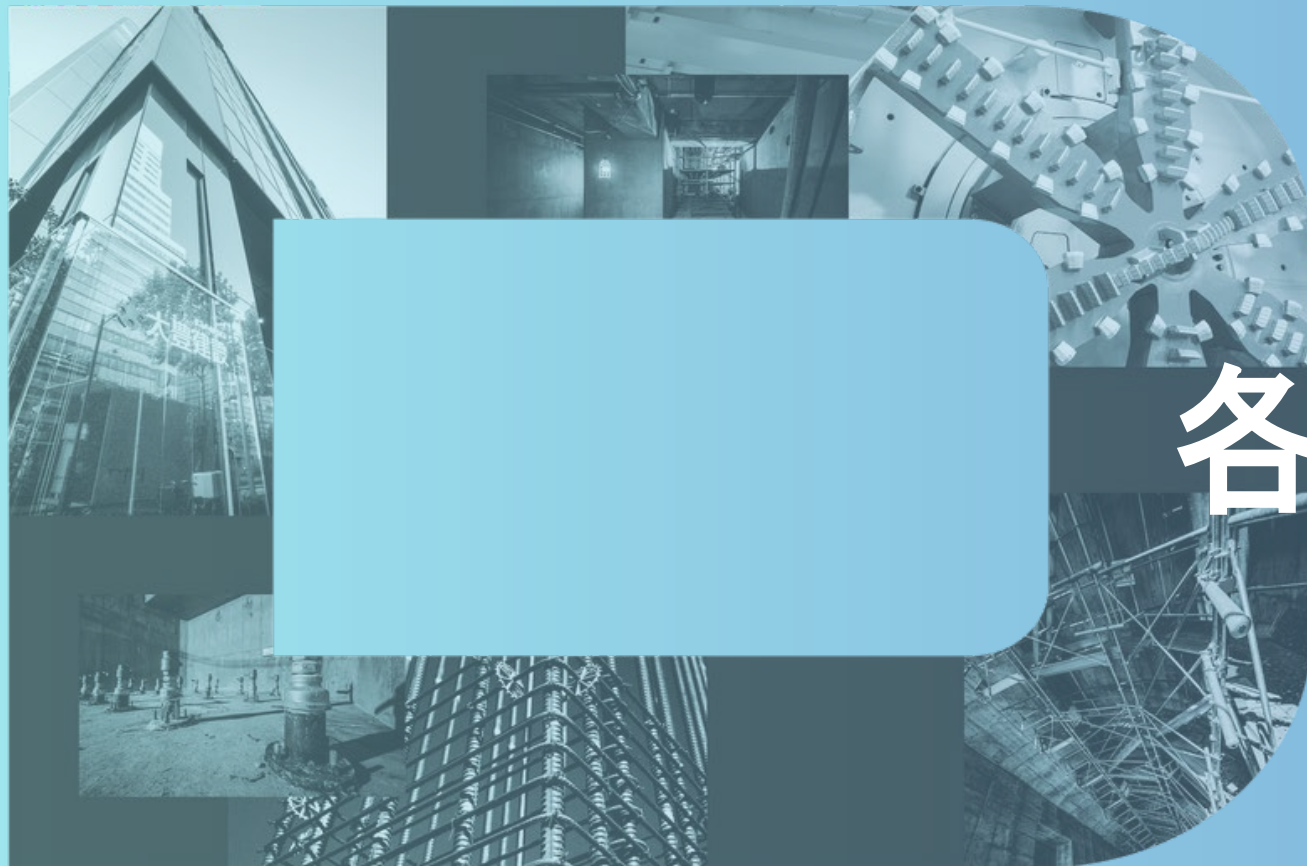


新たな木質
建材の活用

国産木材活用
による森林保全



新たな事業創出で建物に木質建材の利用を促進し、炭素固定を促す

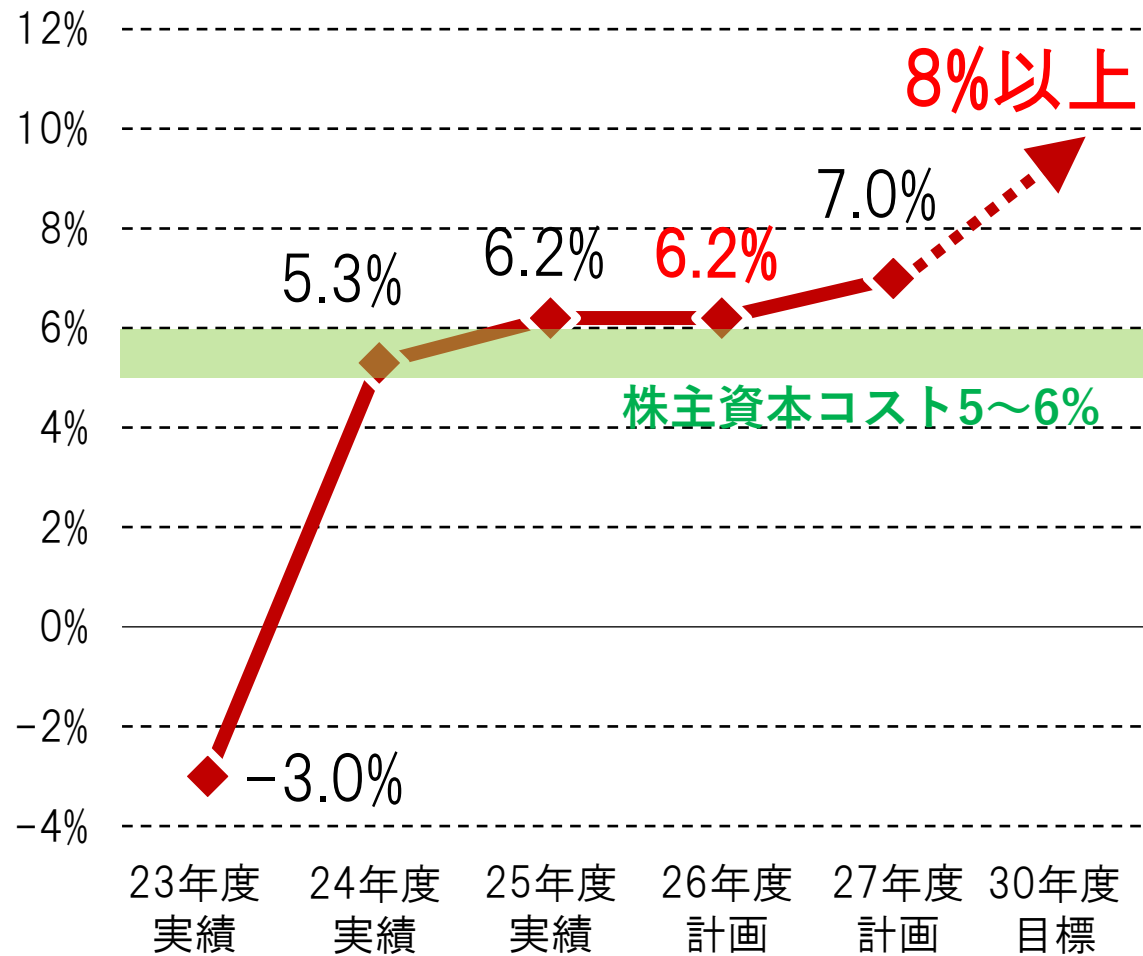


各指標の推移

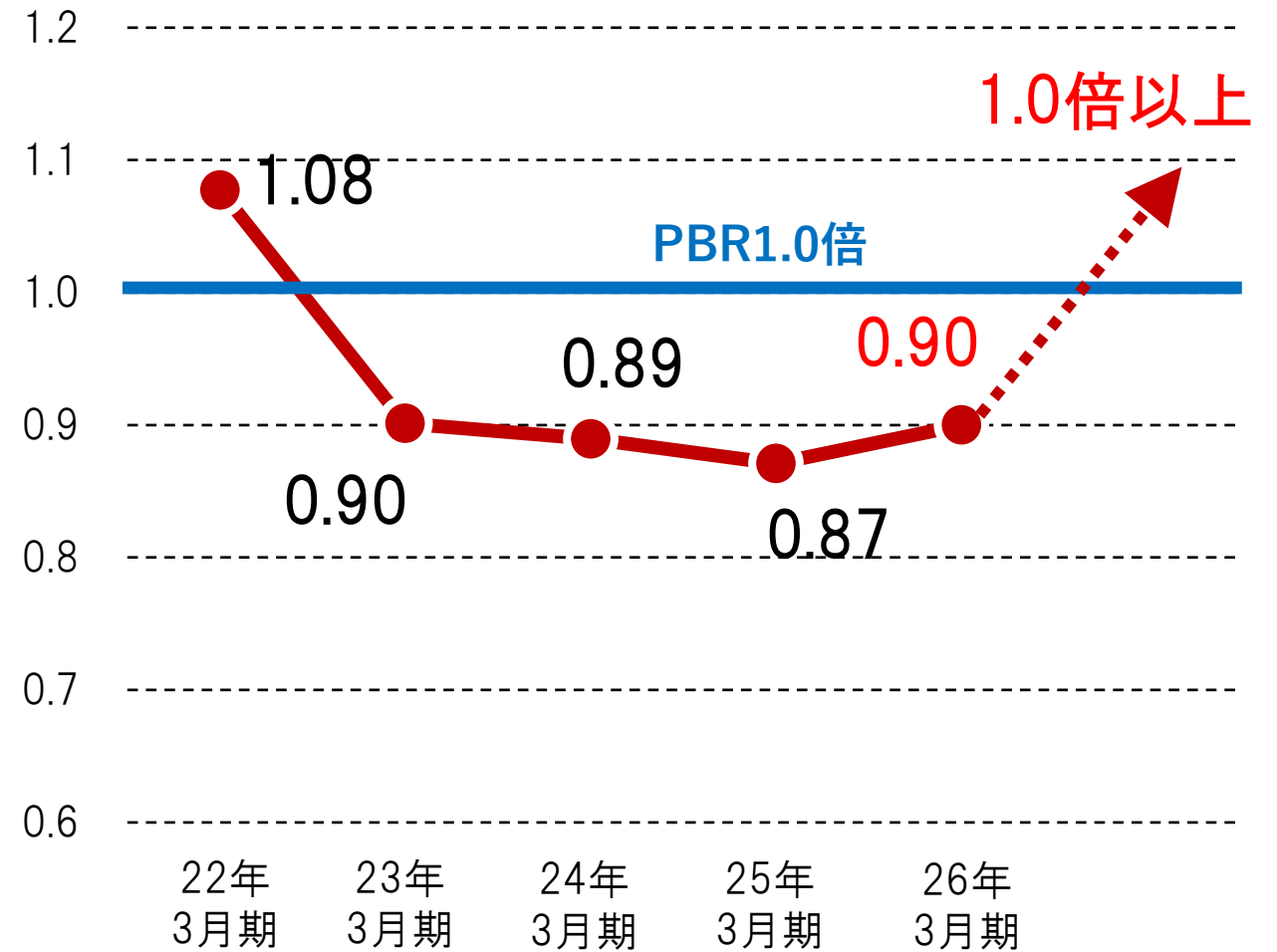
各指標の推移(ROE、PBR)

ROE：自己資本利益率、PBR：株価純資産倍率

ROE



PBR(期末)



資本効率の向上とPBR1.0倍以上の株価を安定的に確保する。

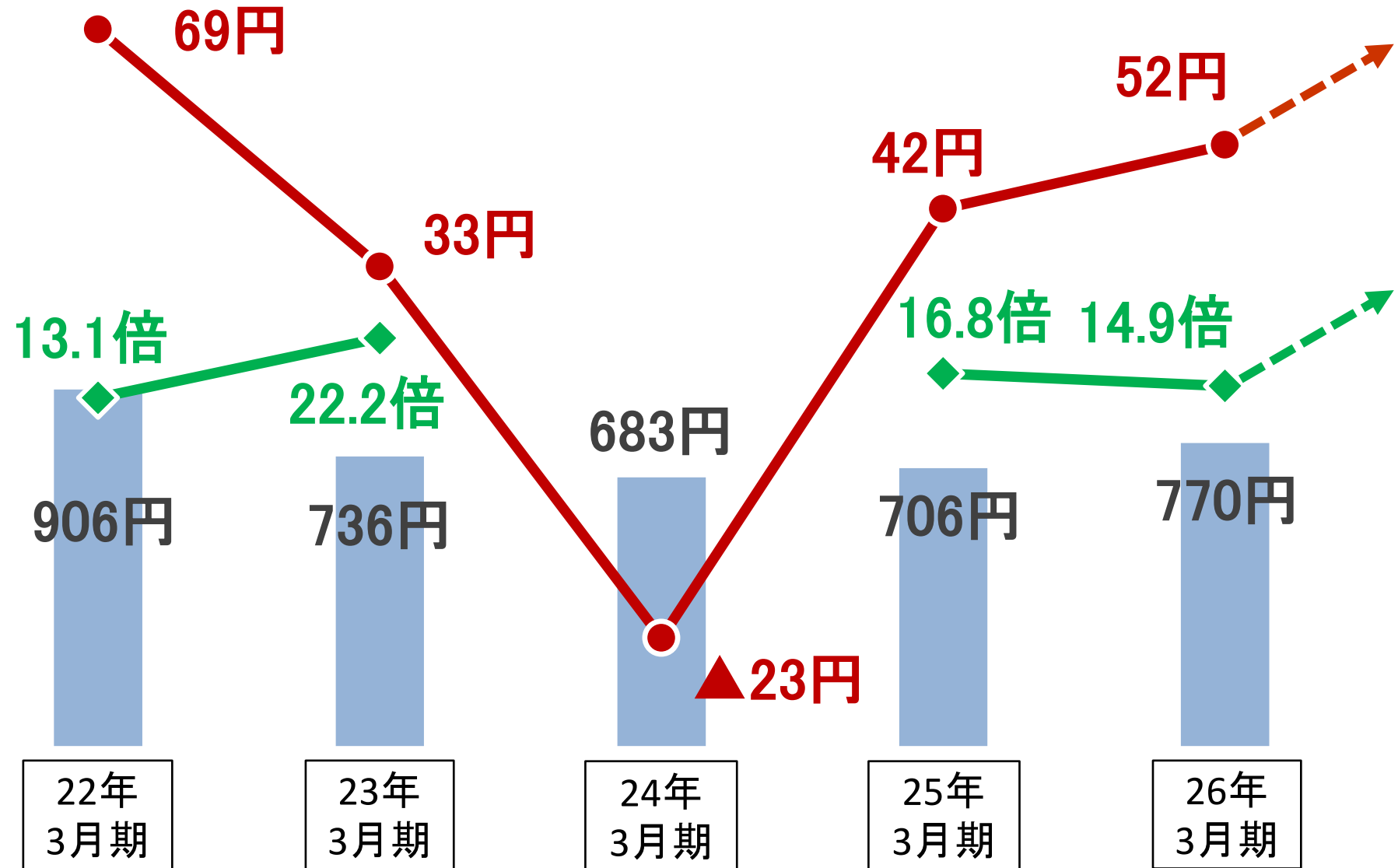
各指標の推移(PER、EPS)

PER：株価収益率、EPS：1株あたり純利益

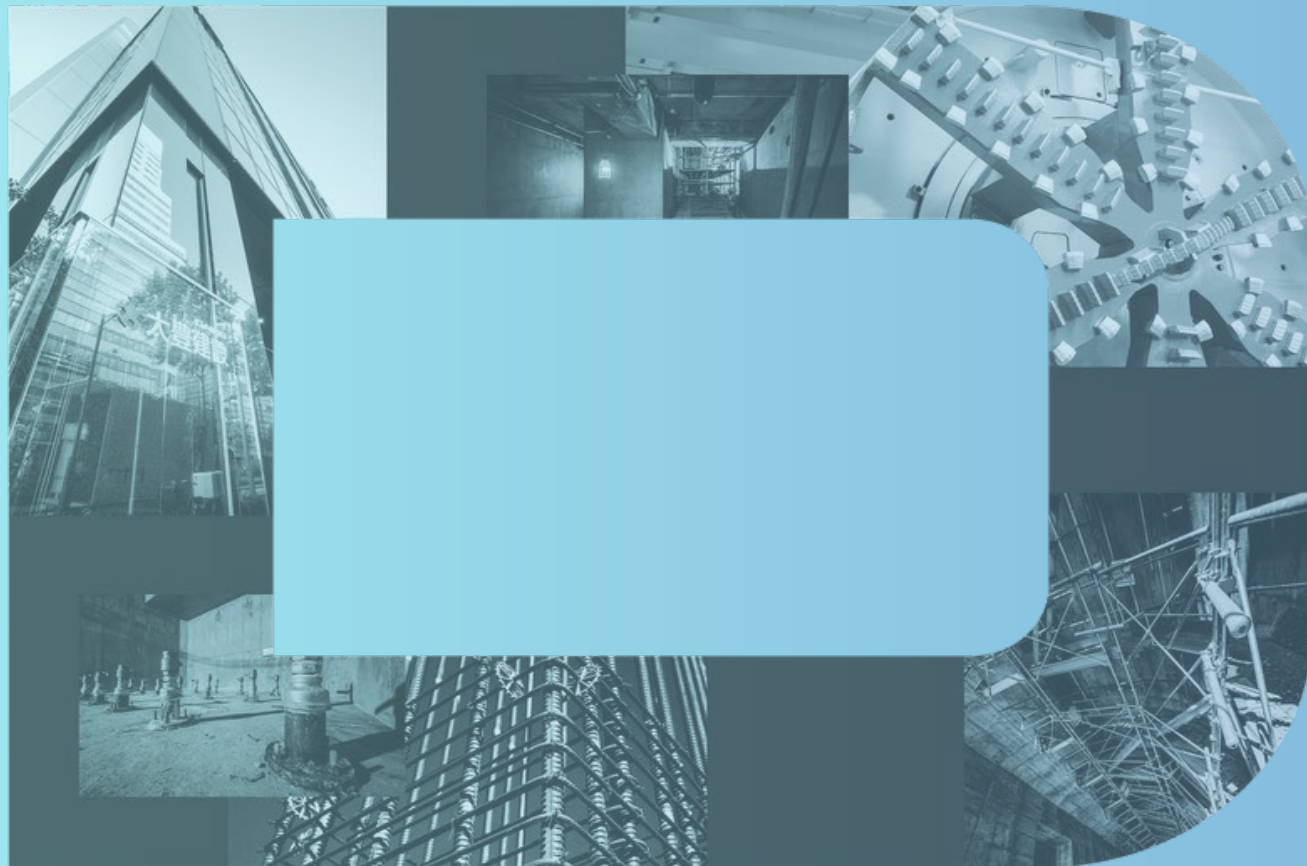
EPS
(1株あたり純利益)

PER
(株価収益率)

株価
(期末)



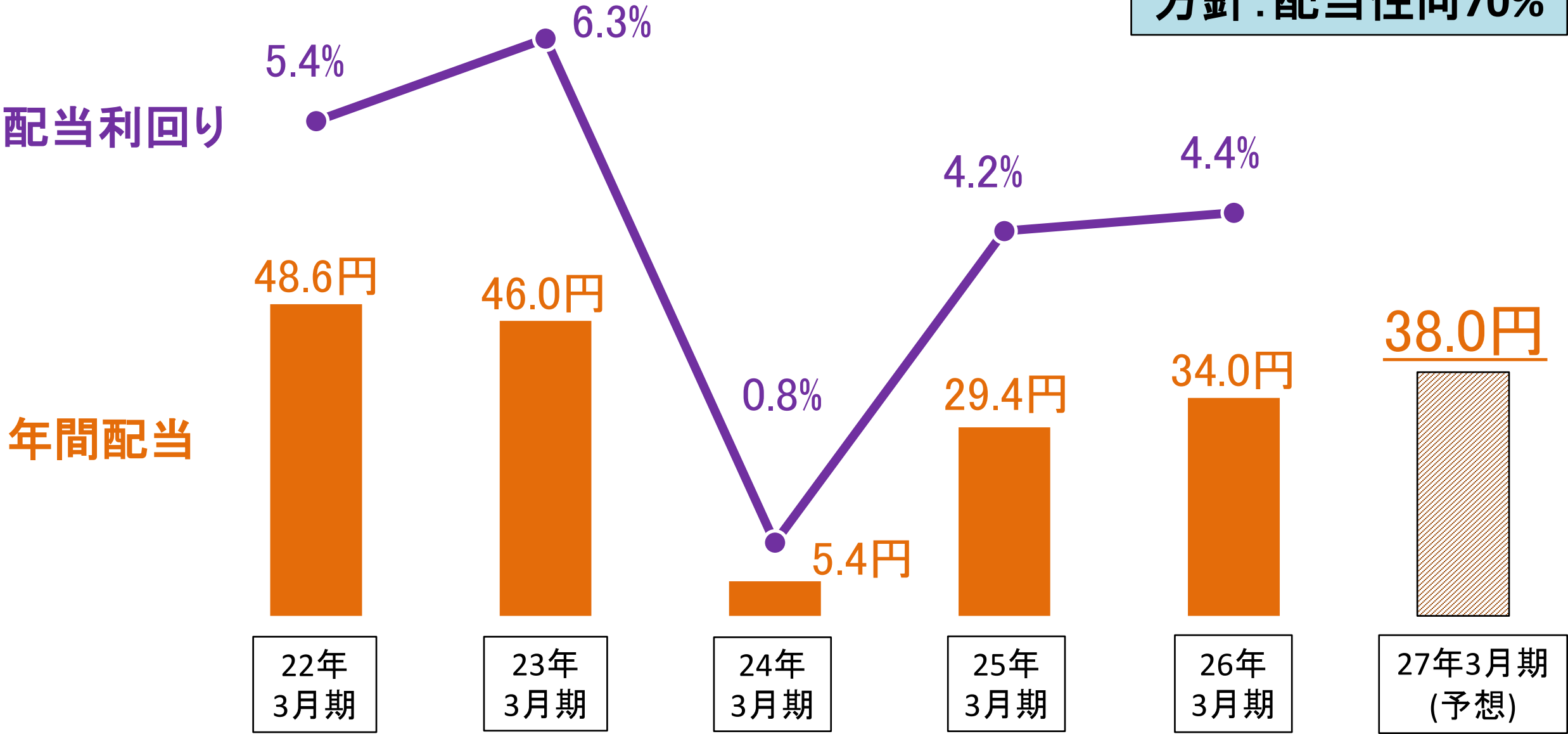
※24年3月期は当期純損失を計上



株主還元

株主還元について (年間配当、配当利回り)

方針：配当性向70%



株主優待について

当社特製QUOカード 年2回 進呈



対象となる株主様

毎年3月末および9月末時点の
株主名簿に記録された
100株以上を保有する株主様

100株～

優待の内容

当社特製QUOカード進呈
金額は保有株式数と
継続保有期間に応じて決定

最大5,000円分

進呈の時期

3月末基準… 7月上旬
9月末基準… 12月上旬

2回/年

優待金額表（保有株式数×継続保有期間）

継続保有期間 保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上 500株未満	500円分	1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満	1,000円分	1,500円分	2,500円分
1,000株以上	1,500円分	2,500円分	5,000円分

A faint, light gray background illustration. The upper portion shows a city skyline with several skyscrapers of varying heights. The lower portion shows a large, complex mechanical gear system with multiple interlocking gears and shafts.

ご清聴ありがとうございました。



大豊建設株式会社
DAIHO CORPORATION